

最近の人材施策の動向と 九州経済産業局の取組

令和4年11月
九州経済産業局
産業人材政策室

目次

1. 最近の人材施策の動向

- ① 新しい資本主義 ～人への投資～
- ② 未来人材ビジョン
- ③ デジタル推進人材の育成

2. 中小企業・小規模事業者への人材確保・活用支援

3. 地域の産学官による人材育成・確保のための機能の強化

1. 最近の人材施策の動向

1. (1) 新しい資本主義へ ～新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画～

新しい資本主義に向けた計画的な重点投資

(重点投資分野)	(主な取組)	
人への投資と分配	<ul style="list-style-type: none">・賃金引き上げの推進・スキルアップを通じた労働移動の円滑化・貯蓄から投資のための「資産所得倍増プラン」の策定・子供・現役世代・高齢者まで幅広い世代の活躍を応援・多様性の尊重と選択の柔軟性・人的資本等の非財務情報の株式市場への開示強化と指針整備	
科学技術・イノベーションへの重点的投資	<ul style="list-style-type: none">・量子技術・A I 実装・バイオものづくり・再生・細胞医療・遺伝子治療等・大学教育改革・2025年大阪・関西万博	
スタートアップの起業加速及びオープンイノベーションの推進	<ul style="list-style-type: none">・スタートアップ育成5か年計画の策定・付加価値創造とオープンイノベーション	
GXへの投資・DXへの投資	GXへの投資	DXへの投資
	<ul style="list-style-type: none">・GX投資のための10年ロードマップ・成長志向型カーボンプライシング構想・GX経済移行債（仮称）・GXリーグの段階的発展・活用・GX実行会議	<ul style="list-style-type: none">・ポスト5G、6Gの実現に向けた研究開発・デジタル市場の環境整備・クレジットカードのインターチェンジフィーを透明化・デジタルヘルスの普及・マイナンバーカードの普及・中小企業等のDX・医療のDX・建築・都市のDX・サイバーセキュリティ

1. (2) 経済産業政策の方向性 ～経済産業政策の新機軸～

- 投資によるイノベーションの成果が分配され次なる成長につながる「**成長と分配の好循環**」を生み出し、「**新しい資本主義**」を実現することで、**持続的な経済社会を実現**。
- **短期的な株主利益至上主義を追求するのではなく、日本の持つ強み**（安心安全、豊かな文化資源、健康寿命、インフラの信頼性等）**を活かしながら、経済成長・国際競争力強化**および**多様な地域や個人の価値を最大化する包摂的成長**の両者を実現する。

	現状 (AS IS)	目指すべき状態 (TO BE)
産業構造・経営	<ul style="list-style-type: none"> ・新規成長分野・スタートアップへの低調な投資・低成長・低賃金の負のスパイラル ・様々な役割の中小・小規模事業の持続性の課題 ・低調なM&A 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規成長分野・スタートアップへの大胆な投資・グローバル規模で成長する事業の創出、高成長、高賃金化の正のスパイラル ・中小・小規模事業も連動して高付加価値・高賃金化 ・グローバル規模での活発なM&A等を通じた新陳代謝・事業再編（ダイナミズムある事業環境） ・グローバル市場前提・高付加価値型・マーケットイン型 ・経済安全保障の確保（国内完結追求だけでなく同志国との協調）
人材	<ul style="list-style-type: none"> ・大企業に人材が困り込まれ、十分な育成もなされない ・同質性が高く、ハイレベルな外国人材も来ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・人の移動を前提とした個人に対するセーフティネット整備・就労支援・人的資本投資が行われ、成長分野・スタートアップに人材が動く ・海外からもハイレベル人材が集まり、多様な人材が起業・企業で活躍
資金	<ul style="list-style-type: none"> ・個人資産・企業年金等の資産の多くが現預金等に塩漬け 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人資産・企業年金等が資本市場を通じて成長セクターに投資され、成長の果実が広く分配される
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化の進展により持続可能性に懸念 ・高付加価値の事業・雇用機会の欠如 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域固有の価値を活かし、それぞれ特色ある高付加価値な事業・雇用機会や、魅力・求心力のある持続可能な地域

1. (3) 未来人材ビジョン

- デジタル化や脱炭素化により、将来は「問題発見力」「的確な予測」「革新性」が一層求められる。
- 2050年における職種別の労働需要は、事務従事者で4割減少する一方、情報処理・通信技術者では2割増加するとの推計結果となった。

2050年に向けた重要なスキルの変化

2015年		2050年	
注意深さ ・ミスがないこと	1.14	問題発見力	1.52
責任感 ・まじめさ	1.13	的確な予測	1.25
信頼感 ・誠実さ	1.12	革新性*	1.19
基本機能 (読み、書き、計算、等)	1.11	的確な決定	1.12
スピード	1.10	情報収集	1.11
⋮	⋮	⋮	⋮

※革新性：新たなモノ、サービス、方法等を作り出す能力

労働需要推計の結果

事務従事者	42% 減少
販売従事者	26% 減少
情報処理 ・通信技術者	20% 増加
開発 ・製造技術者	11% 増加

(注) デジタル化と脱炭素化が進展し、高い成長率を実現できると仮定した推計結果。労働需要の増減と、各産業・職種の付加価値の増減は連動しない点に留意。

(出所) 労働政策研究・研修機構「労働力需給の推計-労働力需給モデル(2018年度版)」、「職務構造に関する研究Ⅱ」(2015年)、World Economic Forum「The future of jobs report 2020」、Hasan Bakhshi et al.,「The future of skills: Employment in 2030」、内閣府「産業界と教育機関の人材の質的・量的需給マッチング状況調査」(2019年)、文部科学省 科学技術・学術政策研究所「第11回科学技術予測調査ST Foresight 2019」等を基に経済産業省が推計。

(注) 各職種で求められるスキル・能力の需要度を表す係数は、56項目の平均が1.0、標準偏差が0.1になるように調整している。
(出所) 2015年は労働政策研究・研修機構「職務構造に関する研究Ⅱ」、2050年は同研究に加えて、World Economic Forum「The future of jobs report 2020」、Hasan Bakhshi et al.,「The future of skills: Employment in 2030」等を基に、経済産業省が能力等の需要の伸びを推計。

1. (4) 今後の方向性と主な具体策①

これから向かうべき2つの方向性

1. 旧来の日本型雇用システムからの転換
2. 好きなことに夢中になれる教育への転換

主な具体策

1. 旧来の日本型雇用システムからの転換

(1) 人を大切にする企業経営へ

- 人的資本経営に取り組む企業による変化を加速させる「場」の創設
- インターンシップを積極的に活用する仕組みへの転換と一括採用の相対化

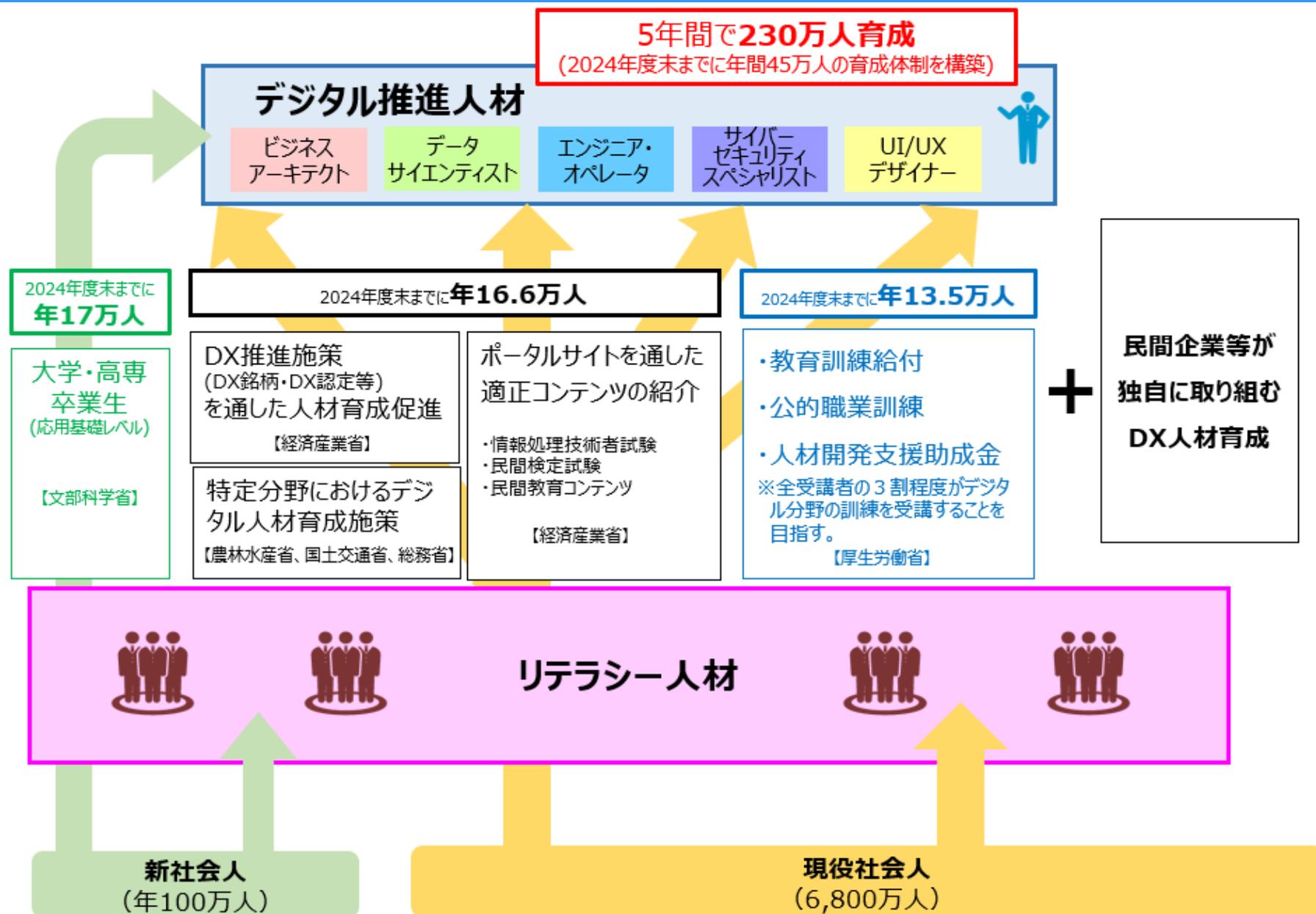
(2) 労働移動が円滑に行われる社会に

- “ジョブ型雇用”の導入を検討する企業に向けたガイドラインの作成
- 「学び直し成果を活用したキャリアアップ」を促進する仕組みの創設
- 地域の産学官による人材育成・確保のための機能の強化

2. 好きなことに夢中になれる教育への転換

- 教育課程編成の一層の弾力化や、多様な人材が教育に参画できる仕組みの整備
- 高校の授業における対面とデジタルの組み合わせへの転換
- 公教育の外で才能育成・異能発掘を図る民間プログラムの全国ネットワークの創設
- 「知識」の獲得に関する企業や大学の教材等をデジタルプラットフォーム上での解放・体系化と、教員リソースの「探究力」の鍛錬への集中
- 大学・高専等における企業による共同講座の設置やコース・学科等の設置促進

1. (5) デジタル推進人材の育成



出典：デジタル田園都市国家構想基本方針（令和4年6月7日閣議決定）

1. (6) シリコンアイランド九州の更なる発展に向けて

- 半導体人材の育成・確保やサプライチェーンの強靱化を図るため、国や九州7県・政令市、産業界、教育界等で構成する九州半導体人材育成等コンソーシアムを本年3月に組成。
- 半導体産業の更なる発展に向けた取組を強力に推進。

1. 事業の概要

- 九州経済産業局が事務局となり、産学官のニーズ・シーズをコーディネート。

(1) 半導体人材の育成と確保

- ①半導体産業のプレゼンス向上、全国への魅力発信
- ②人材育成カリキュラムの作成、研修プログラムの構築と実践

(2) 半導体大手企業と地場企業、ユーザー企業との取引強化

- ①大手企業と地域企業等とのマッチングプラットフォーム構築
- ②新たな投資案件の創出、レガシー工場・設備の共同利活用

(3) 海外との産業交流の促進

- ①海外（台湾・米国・欧州）の関連機関とのアライアンス形成
- ②SIIQのMOUの活用等による産業交流及び人材交流

2. 今後の取組方針

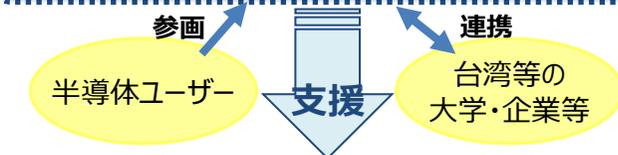
- 2つのワーキンググループ（人材育成、サプライチェーン強靱化）を設置し取組を実行。WG事務局はSIIQ。
- 4県が組成した半導体協議体とも連携し、オール九州にて取組を推進。
- 九州がモデルとなるエコシステムを構築し、他地域での横展開に繋げ、オールジャパンでの展開に発展。

九州半導体人材育成等コンソーシアム (令和4年3月29日組成)

<主な構成機関>

- ◆産：半導体企業、JASM※1、JEITA 等
- ◆学：九工大、九大、熊大、高専機構 等
- ◆官：経産省、文科省、各県、産総研 等

〔事務局〕九州経済産業局、SIIQ ※2



県組成の協議体 ※（ ）内は組成時期、九州経済産業局も参画

福岡県 (令和4年2月)	長崎県 (令和4年2月)	熊本県 (令和4年3月)	大分県 (平成17年4月)
-----------------	-----------------	-----------------	------------------

※1: Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(株)
(TSMC、ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)、(株)デンソーの合併会社)
※2: 九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会

全国・他地域へ横展開

2. 中小企業・小規模事業者への人材確保・活用支援

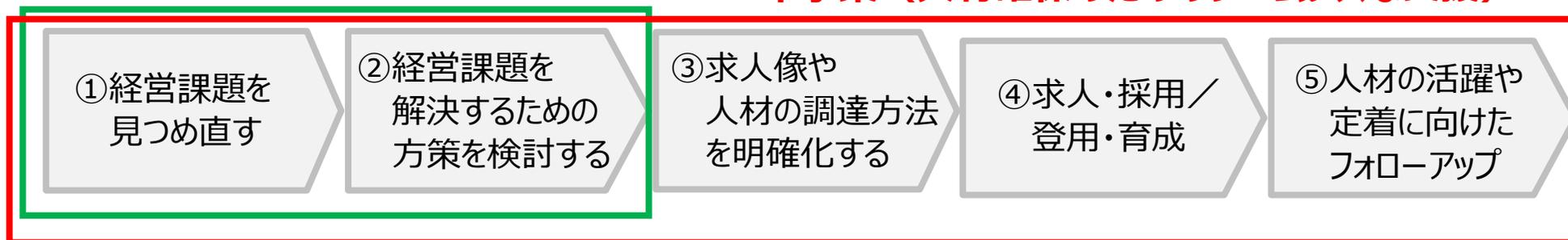
2. (1) 人材確保支援のポイント

- 人材不足の背景には、中小企業が経営課題を絞り込めていない（①、②）、求人像が不明確等の問題もあり採用に至らない（③）、入社後に思っていた仕事と違った（④）、能力を発揮できない（⑤）など、人材とのミスマッチが生じていることも少なくない。
- こうした課題に応じたシームレスな支援が必要。

【人材確保に向けた5ステップ】

よろず支援拠点事業

本事業（人材確保のためのシームレスな支援）



【支援の方向性】

- 中小企業に対する人材確保の気付きや行動変化を促すのセミナー・マッチング事業
- 中小企業を支援するプラットフォーム構築事業

※よろず支援拠点事業では、上記5つのステップのうち、主に「①経営課題を見つめ直す」、「②経営課題を解決するための方策を検討する」に係る相談に対応。人材確保に特化した内容である「③求人像や人材の調達方法を明確化する」以降のステップに関する相談は、よろず支援拠点には、ほぼ寄せられておらず、本事業において一気通貫で支援を実施。

2. (2) 九州経済産業局の取組 ～人材戦略パッケージプログラム～

- 九州経済産業局では、人材確保・活用に係る中小企業経営者の意識改革、行動変容の立ち上がり支援として、2021年度から「人材戦略パッケージプログラム」を実施。
- 目の前の“人手不足”の解消ではなく、2030年、2050年を見据えた我が社の“あるべき姿”からバックキャストし、今どういった人材が必要かなど、これから人材戦略を進めていくうえで有益な勉強会やワークショップ、マッチング会を展開。

人材戦略パッケージプログラム2022

勉強会・ワークショップ

人材確保・活用を通じた企業価値向上を目指すマッチングの前段階として、勉強会やワークショップを実施

デジタル化推進

経営デザイン・アート視点の活用

グローバル化への対応

ダイバーシティ推進

社内マネジメント力の向上

就職氷河期世代人材活用

経営戦略構築

採用戦略構築

人材の多様性導入による価値向上

マッチング

下記カテゴリの副業・兼業等を含めたマッチングをサポート

デジタル人材

グローバル人材

マネジメント人材

デザイン・アート人材

就職氷河期世代人材



2. (3) 取組状況 ～勉強会・マッチング会等～

「人材戦略パッケージプログラム2022」開催イベント概要

イベント名	開催済み			開催予定
	開催数	参加企業	参加者	
①人材確保・活用を通じた企業価値向上を目指す勉強会	5回	399社	-	-
②企業価値向上を目指す採用戦略構築ワークショップ	6回	121社	-	-
③デジタルリテラシー・リスティング講座	4回	33社	-	-
④企業価値向上を目指すオンラインマッチング会（副業兼業）	2回	10社	156名	2回
⑤企業価値向上を目指すオンラインマッチング会（転職）	1回	13社	46名	3回
①就職氷河期世代人材活用促進ワークショップ	4回	54社	-	-
②就職氷河期世代人材向けキャリアデザイン講座	1回	-	15名	1回
③就職氷河期世代人材向け経験・スキル整理ワークショップ	1回	-	76名	6回
④就職氷河期世代人材マッチング会	1回	15社	76名	6回

※10月25日時点までに実施した事業の参加企業数・参加者数

九州経済産業局

企業価値向上を目指す「人材戦略パッケージプログラム2022」

参加企業募集!

参加無料

オンライン開催

各回10社限定

いま日本中の企業が注目している
ミドル世代人材の活用を
貴社も推進しませんか？

九州経済産業局では、中小企業の皆様へ、自社の課題解決に最適なミドル世代（就職氷河期世代）人材と出会い、人材確保を実現することのできるマッチング会を開催いたします。貴社の求めるスキルや経験を持つミドル世代（就職氷河期世代）人材と直接対話いただき、人材確保・活用の可能性を広げませんか。

九州経済産業局（経済産業省）主催 【後援】福岡労働局、佐賀労働局、長崎労働局、熊本労働局、大分労働局、高崎労働局、鹿児島労働局

マッチング会の流れ

対面形式	マッチング会参加対象企業	会場・日時
福岡	福岡県内に所在する企業【アクロス福岡 大会議室】福岡市中央区天神 1-1-1	10月16日(日) 14:00～16:00
熊本	熊本県内に所在する企業【熊本城ホール 中会議室B2・B3】熊本市中央区駅前 3-4-0	11月27日(日) 14:00～16:00
オンライン形式	マッチング会参加対象企業	日時
佐賀	佐賀県内に所在する企業	10月30日(日) 14:00～16:00
長崎	長崎県内に所在する企業	11月5日(土) 14:00～16:00
大分	大分県内に所在する企業	11月19日(土) 14:00～16:00
宮崎	宮崎県内に所在する企業	12月3日(土) 14:00～16:00
鹿児島	鹿児島県内に所在する企業	12月10日(土) 14:00～16:00

■オンライン形式で開催する全ての会場：Webexを使用します。

九州の経営者の皆様、必見！オンライン勉強会のご案内 【主催】九州経済産業局

参加無料

人材確保・活用を通じた企業価値向上を目指す

勉強会

7/6 13 20
21 26

登大遊
ソフィアキャリア株式会社
代表取締役

平山実海
九州経済産業局
パートナー・エグゼクティブ
代表取締役

藤和明光
株式会社人材バンク
代表取締役

大江真志
キョウコウ株式会社
代表取締役

小野寺 女子
株式会社 Wework
代表取締役

オンライン勉強会パナー



氷河期世代マッチング会の様子

2. (4) 取組状況 ～マッチング会等の開催実績と今後の予定～

イベント名	開催日
企業価値向上を目指すオンラインマッチング会（〔兼業・副業〕 マネジメントスキルを持つ課題解決人材）	10月2日(日) 13:00 ～ 17:10
企業価値向上を目指すオンラインマッチング会（〔兼業・副業〕 グローバル展開支援スキルを持つ課題解決人材）	10月27日(木) 18:30 ～ 20:30
企業価値向上を目指すオンラインマッチング会（〔兼業・副業〕 デザイン視点・スキルを持つ課題解決人材）	10月27日(木) 18:30 ～ 20:30
企業価値向上を目指すオンラインマッチング会（〔兼業・副業〕 デジタルスキルを持つ課題解決人材）	11月16日(水) 18:30 ～ 20:30
企業価値向上を目指すオンラインマッチング会（〔転職〕 営業・マーケティングスキルを持つ課題解決人材）	10月8日(土) 13:00 ～ 17:10
企業価値向上を目指すオンラインマッチング会（〔転職〕 ものづくりに携わる課題解決人材）	11月3日(木) 13:00 ～ 17:10
企業価値向上を目指すオンラインマッチング会（〔転職〕 事務系・管理部門系に関わる課題解決人材／北部九州）	11月13日(日) 13:00 ～ 17:10
企業価値向上を目指すオンラインマッチング会（〔転職〕 事務系・管理部門系に関わる課題解決人材／南部九州）	11月23日(水) 13:00 ～ 17:10
就職氷河期世代人材向けキャリアデザイン講座〔オンライン／Webex〕	10月12日(水) 19:00 ～ 20:00
就職氷河期世代人材向けキャリアデザイン講座〔オンライン／Webex〕	11月9日(水) 19:00 ～ 20:00
就職氷河期世代人材マッチング会（福岡県内に所在する企業〔アクロス福岡 大会議室〕）	10月16日(日) 14:00 ～ 16:00
就職氷河期世代人材マッチング会（熊本県内に所在する企業〔熊本城ホール 中会議室B2・B3〕）	11月27日(日) 14:00 ～ 16:00
就職氷河期世代人材マッチング会（佐賀県内に所在する企業〔オンライン／Webex〕）	10月30日(日) 14:00 ～ 16:00
就職氷河期世代人材マッチング会（長崎県内に所在する企業〔オンライン／Webex〕）	11月5日(土) 14:00 ～ 16:00
就職氷河期世代人材マッチング会（大分県内に所在する企業〔オンライン／Webex〕）	11月19日(土) 14:00 ～ 16:00
就職氷河期世代人材マッチング会（宮崎県内に所在する企業〔オンライン／Webex〕）	12月3日(土) 14:00 ～ 16:00
就職氷河期世代人材マッチング会（鹿児島県内に所在する企業〔オンライン／Webex〕）	12月10日(土) 14:00 ～ 16:00

※就職氷河期世代人材マッチング会は、各回の直前に「就職氷河期世代人材向け 経験・スキル整理ワークショップ」も開催。

2. (5) 施策普及・広報 ～九州あおい～

- 九州経済産業局のバーチャル広報職員「九州あおい」が、最近の産業人材施策や令和4年度「地域中小企業人材確保支援等事業」など事業のポイントについて、ホームページや経済産業省チャンネル（YouTube配信）等で分かりやすく動画で紹介。



- ㊸社長！営業の人が足りない！って仰ってませんか？

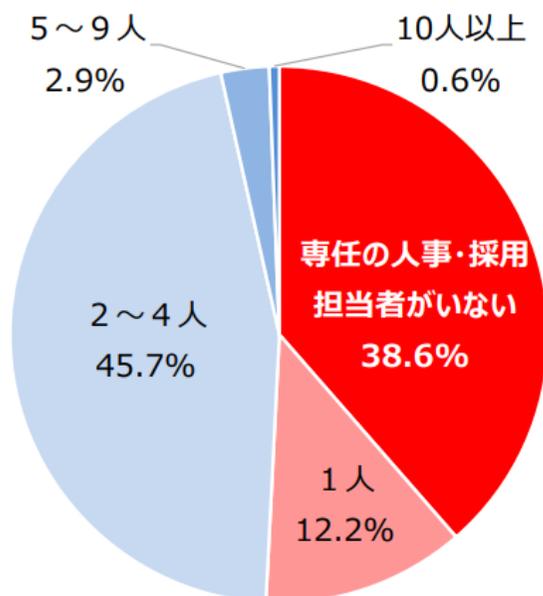
(<https://www.youtube.com/watch?v=Dd96op5qwTQ>)

3. 地域の産学官による人材育成・確保のための機能の強化

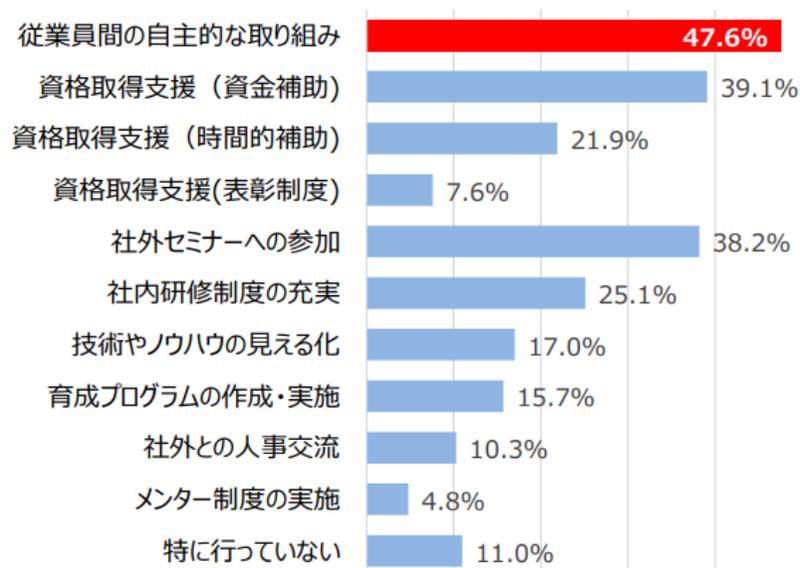
3. (1) 地域企業における人材確保等の課題

- 中堅・中小企業では、数ある経営課題の中で、人材（確保・育成・後継者）が最重要課題。
- 他方、有力な企業でも4割は専任の人事・採用担当者がいないなど、人事機能が弱い傾向。
- 人手を割く余裕のなさから、人材育成は従業員の自己啓発に依存。

有力企業（地域未来牽引企業）における
人事・採用業務担当者数



中小企業における中核人材の育成方法

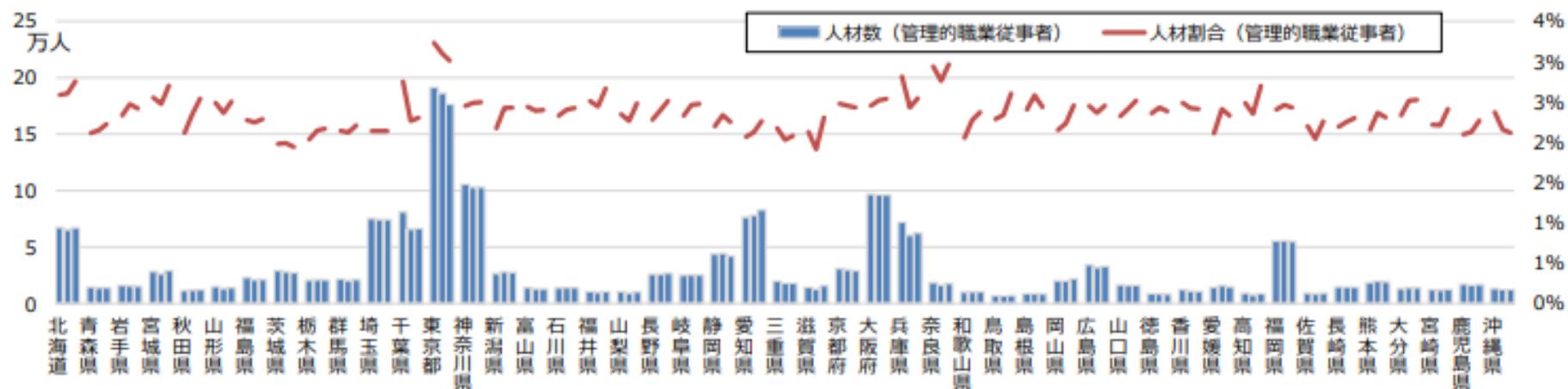


（出所）経済産業省「令和元年度 大企業人材等の地方活躍推進事業（地域の中核企業による人材確保手法等の調査分析）」（2020年）及び中小企業庁「2015年版中小企業白書」を基に経済産業省が作成。

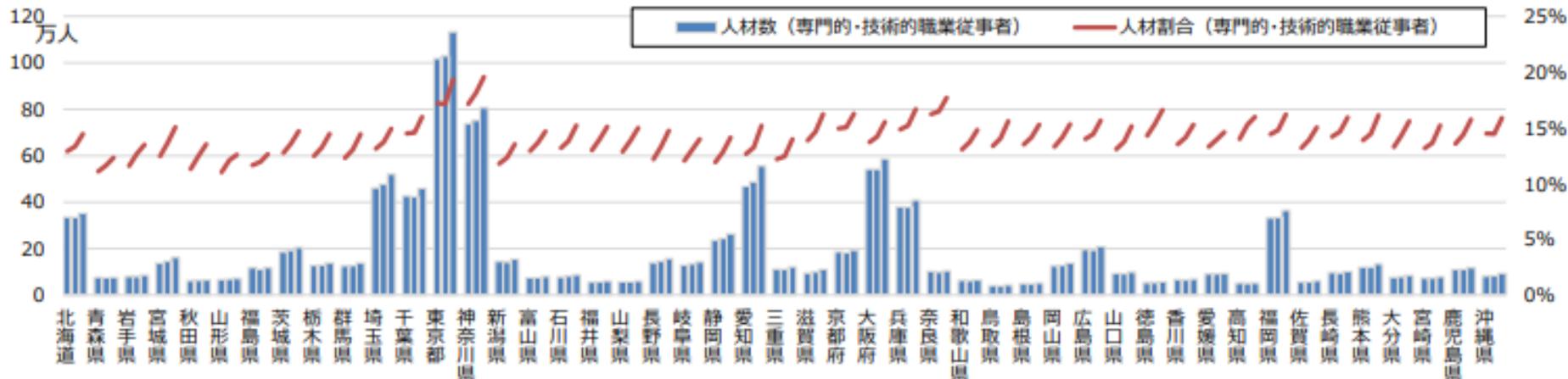
3. (2) 東京圏に集中する中核人材

- 管理職や専門・技術職等の中核人材も、東京圏等の都市部ほど集中している。

■ 管理職の人材数と人材割合の推移 (右から2005年、2010年、2015年)



■ 専門・技術職の人材数と人材割合の推移 (右から2005年、2010年、2015年)



(資料)・国勢調査 (平成17、22、27年)

3.(3) 政府の動き

- 「教育未来創造会議（内閣官房）」や「未来人材会議（経済産業省）」において、地域の産学官が面的に連携して、人材に係る諸問題に対応することが求められている。

■ 教育未来創造会議（内閣官房）

地域の産学官が面的に連携して人材マッチング・育成・フォローアップ等を総合的に行う「地域の人事部」機能を構築・強化することにより、地域企業の人材の獲得・育成・定着を促進し、地域における人材の活躍の場を創出する。

（我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について（第一次提言案：令和4年5月10日）より抜粋）

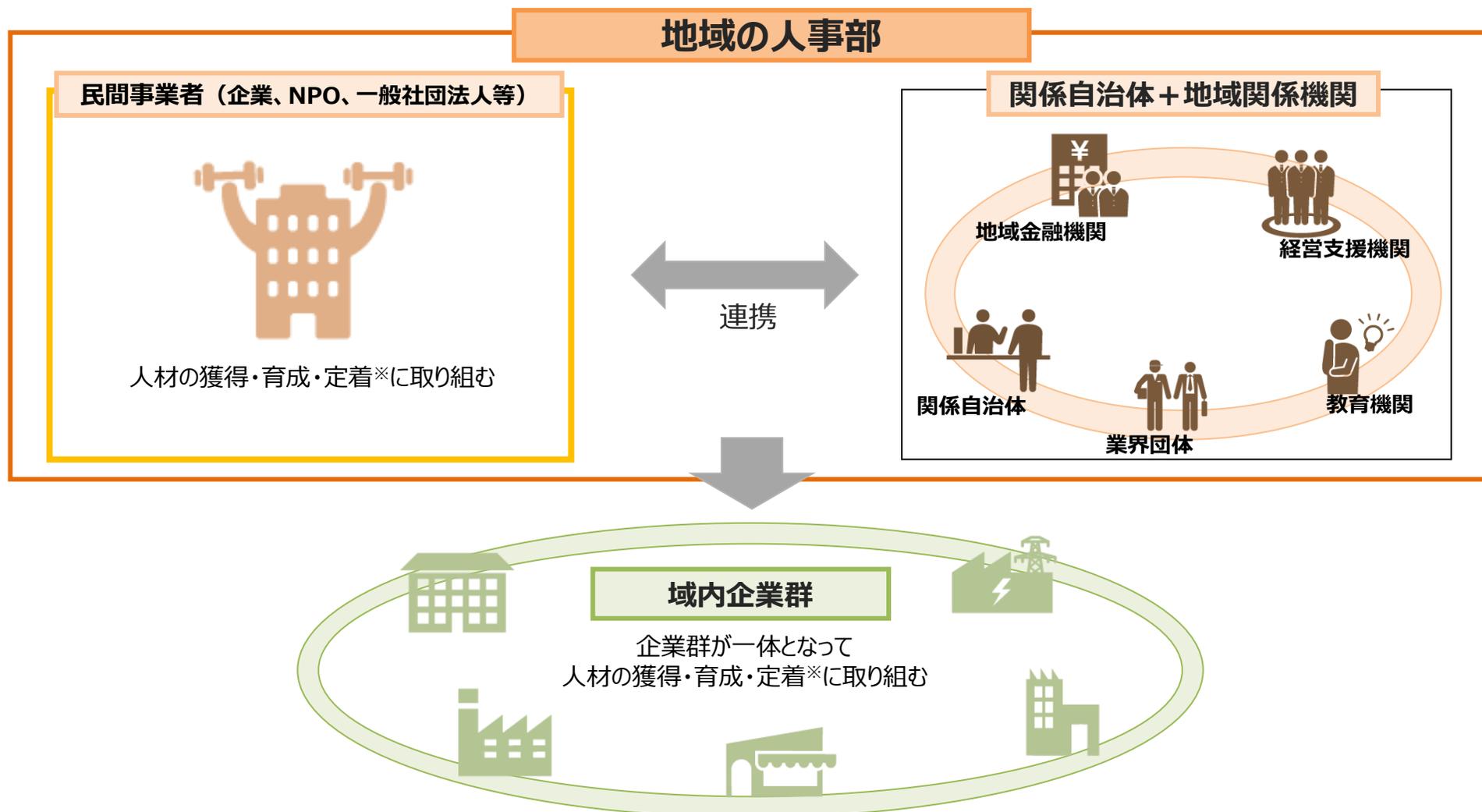
■ 未来人材会議（経済産業省）

地域における人材の活躍に向けて、地域の産学官による人材育成・確保のための機能を強化すべきである。

（未来人材ビジョン（令和4年5月31日公表））

3. (4) 「地域の人事部」のイメージ図

- 民間事業者等が**複数の地域企業を束ね**、地方自治体、金融機関等の**地域の関係機関と連携**しつつ、**地域の企業群を一体**として、**将来の経営戦略実現を担う人材の確保**（兼業・副業含む）・**域内でのキャリアステップの構築**等を行う**総合的な取組を促進する**。

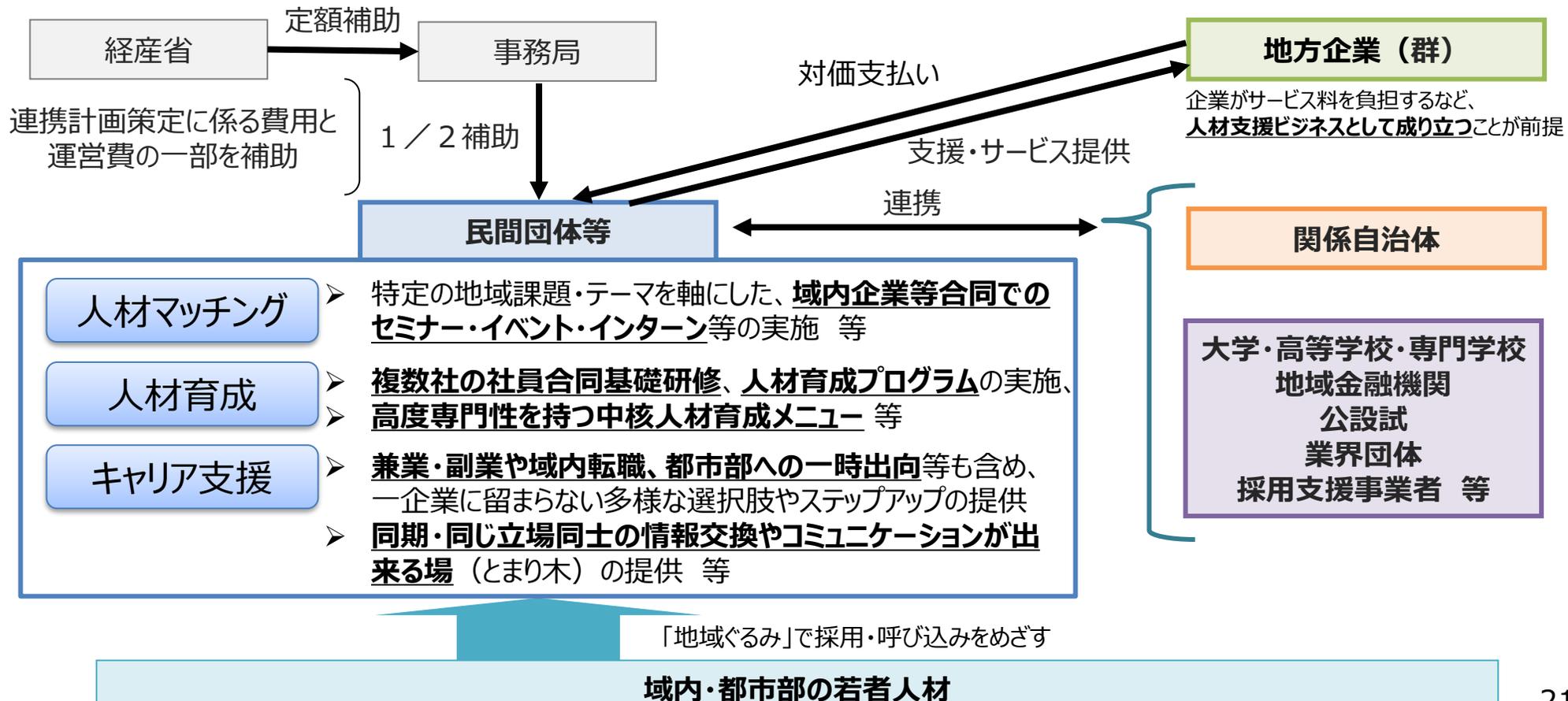


※獲得：域内企業等の合同セミナー・イベント・インターン実施、育成：域内企業等の合同社員研修、定着：兼業・副業や域内転職、都市部への一時出向 等

3. (5) 「地域の人事部」機能の強化・拡大 ～地域ぐるみの若者人材確保プロジェクトを支援～

- 地域の民間団体が、企業、業界団体、経営支援機関、自治体等と連携して、若者人材を対象に、特定の地域課題・テーマを持ちながら、一企業に閉じずに地域ぐるみで協調して求人・採用、人材育成やキャリア形成体制構築を行う総合的な取組みを支援する。
- 地方企業が「個社ごと」に取り組むのではなく、「地域全体」として魅力的な仕事やキャリアを作り上げることにより、若者人材の誘引を目指す。

「若者人材確保プロジェクトの実証」の概要・スキーム



(参考) 令和4年度若者人材確保プロジェクトの実証 ～九州3地域を支援～

令和4年度「中小企業経営支援等対策費補助金（若者人材確保プロジェクトの実証）」採択案件一覧

採択件数20件

地域	事業者名	事業実施地域	事業名
北海道	一般社団法人ドット道東	北海道 オホーツク管内、釧路市、弟子屈町、浦幌町、標津町	道東地域の広域連携による若者人材確保・育成プロジェクト
東北	特定非営利活動法人プラットフォームあおもり	青森県つがる市、北津軽郡中泊町、東津軽郡今別町、外ヶ浜町	奥津軽経済圏域における、若者人材の獲得・育成・定着・戦力化推進事業
	特定非営利活動法人イノベブリッジたきざわ	岩手県滝沢市	岩手県立大学周辺のIT産業集積を核とした中小企業雇用拡大支援事業
	一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン	宮城県石巻市	地場産業の協同型採用・育成事業（SeaEOプログラム）
関東	特定非営利活動法人とちぎユースサポーターズネットワーク	栃木県宇都宮市	課題解決型(実践型)インターンシップを基軸とした創造型若者人材の地元定着重層的支援事業
	株式会社つばめいと	新潟県燕市	リカレント教育と情報共有の場「つばめいとカレッジ」による燕市ものづくり企業の若手人材の定着
	NPO法人MEGURU	長野県塩尻市	地域ぐるみで学生・若者人材を育む地域内人材還流促進プロジェクト
中部	株式会社就活ラジオ	富山県富山市	就活道場
	株式会社ガクトラボ	石川県金沢市	金沢の人事部
	株式会社御碓川	石川県七尾市	「能登の人事部」ネットワークによる能登チャレンジコミュニティ化事業
	株式会社リンクコンサルティンググループ	愛知県小牧市	地域企業・中小企業の若者人材の育成と採用を促進する社長参加型のプラットフォーム
	特定非営利活動法人G-net	愛知県豊田市、西尾市	『地域密着と地域横断の二つの機能を行き来する「地域の人事部」立ち上げ事業』地域特化型ブランディングwebを基軸とした、地域ぐるみのコミュニティ型人材支援プラットフォーム
近畿	森興産株式会社	大阪府大阪市、堺市	大阪市、堺市の中小企業における外国人留学生（若年高度グローバル人材）の確保等支援事業
	株式会社タカヨシジャパン	大阪府八尾市	学生・若者コミュニティプラットフォームを構築し、地域で人材の採用と活躍できる環境を整える
中国	エカイブ・エージェント株式会社	島根県安来市	特殊鋼関連企業グループSUSANOOを中心とした若者人材確保・育成実証事業
	隠岐汽船株式会社	島根県隠岐郡海士町、西ノ島町、知夫村、隠岐の島町	隠岐諸島4町村の観光関連企業における若者人材確保プロジェクト
九州	株式会社LERIRO	福岡県うきは市	ラグビーチームLeRIRO福岡若手選手と地元企業のマッチングが生み出す多様性のある地域づくり事業
	一般社団法人フミダス	熊本県人吉市	若者人材育成と、企業の採用力向上による地域内雇用拡大を目的とした人吉若者仕事づくり事業
	株式会社SMO南小国	熊本県阿蘇郡南小国町	地域商社を中心とした採用・定着支援による「地域の人事部」機能の基盤整備
沖縄	株式会社Link and Visible	沖縄県沖縄市	地域にイノベーションを生み出す人材が集まる街へ！沖縄市コザスタートアップ商店街プロジェクト

本資料に関するお問い合わせ先

九州経済産業局 地域経済部 地域経済課 産業人材政策室

TEL : 092-482-5504

Mail : kyushu-jinzai@meti.go.jp